

企画理由 姫路の経済を持続可能なものにし、将来にわたって魅力的なまちへと成長し続けていくために

①「増えて欲しいもの」は何か？  
観光客・地域を好きな人

②「減ってほしいもの」は何か？  
空き家・無駄な用水路・バイパスの渋滞

③「変わらずにあって欲しいもの」は何か？  
姫路城・文化

なぜ、このプロジェクトが必要ですか？  
基金で町を整備していくことで、企業も潤い町も潤うことができる。

⑦プロジェクトの協力者	⑤プロジェクトの主要な活動内容	①プロジェクトの具体的内容 (商品・サービス・イベントの内容)	③どのような関係を作るか？	②対象とする人 ・想定利用者
・インフルエンサー ・マスコミ ・姫路市 ・JR ・神姫バス ・姫路の好きな人々 ・姫路の在住・出身のクリエイター	基金を集めて町を発展させる	小さなコミュニティにも使える決算代行アプリを作る。 地元の祭り・地元販売店で使用できる。 アプリを使用したときの5%を町の発展に使用する。  姫路戦国時代村の様な町にする	・再度姫路に来たくなるような物を作る ・参加企業のオリジナル商品 ・来場者がSNSで拡散	・姫路市民 ・県外の方 ・来姫者 ・姫路の企業
	⑥プロジェクトを形にするために必要になってくるもの、こと		④プロジェクトの届け方	
	・アプリ ・アプリを知ってもらうための広告人・もの・金		アプリに登録して →販売 →販売者と購入者はポイント溜まる →そのポイントで屋台等姫路のイベントでの決済に使える 決済代行代は5%	
⑧このプロジェクトのためにかかる費用			⑨このプロジェクトがもたらす地域経済へのインパクト・価値	
アプリを作る費用&広告代500万			・地元の人・企業・サービス・認知度UP ・のぞみの発着増加 ・地元民が地元の事に詳しくなる。 ・民間企業の活性化	

プロジェクトを実践を通して実現したい理想の姿

- ・イメージは倉敷美観地区
- ・金沢のお土産屋の様な地元愛
- ・基金で町を整備していく
- ・企業も潤い町も潤う
- ・

